



東小だより

やさしく かしく たくましい 東っ子

第21号

桐生市立東小学校

令和5年1月27日

(文責 鈴木 智行)

第2回学校評価アンケート ～よりよい学校づくりに向けて～

2学期末の第2回アンケートへのご協力、ありがとうございました。今回の結果については3学期及び次年度の取組に反映させていきたいと考えています。引き続き、本校の教育活動にご理解・ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

※肯定的回答：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計
「↑」「↓」：前回結果と比較して5ポイント以上の差を示しています。

具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取組等
①「授業でめあての確認や振り返りをしたり、友達と話し合いながら勉強している」と回答する児童が80%以上である。	82.2	自分が感じたことや考えたことを友達に分かりやすく伝えることを通して、表現する力を高めていきます。
②「子どもは『授業の内容がよくわかる』と言っている」と回答する保護者が80%以上である。	86.1 ↑	(前回79.6%)引き続き、児童のやる気や意欲を引き出し、基礎的な内容を確実に身に付けられるようにしていきます。
③「授業中タブレットを使って学習している」と回答する児童が80%以上である。	93.0	調べ学習・発表・交流・記録等において活用しています。鉛筆や定規など、文房具のように活用していくことが目標です。
④「家で勉強や読書をする時間がある」と回答する児童が80%以上である。	77.1	アウトメディアの取組と合わせて、低学年では30分、高学年では60分を目標に取り組めるとよいと思います。
⑤「スタディウィークや漢字・計算コンテスト、読書ウィークをがんばった」と回答する児童が80%以上である。	82.2	集中して取り組む期間を設けることによって、ウィーク以外における習慣化につなげていきたいと考えています。
⑥「子どもはあいさつや規則正しい生活(早寝、早起き、朝ご飯)ができています」と回答する保護者が80%以上である。	79.5	(児童回答71.3%)規則正しい生活習慣の定着に向けて、アウトメディアの取組も含めてご協力をお願いします。
⑦「いやなことをされたり言われたりしたとき、先生は相談に乗ってくれる」と回答する児童が80%以上である。	89.8	毎月の生活アンケート等の結果や日々の生活の様子、表情の変化等を踏まえ、教員から積極的な声かけを行っています。
⑧「クラスで友達と仲良くし、楽しく生活している」と回答する児童が80%以上である。	90.4	日常生活や行事等の振り返りにおいて、友達のよいところやがんばっているところを見つけられるよう促しています。
⑨「子どもはきまりや約束を守って生活している」と回答する保護者が80%以上である。	84.8	全員がきまりや約束を守って生活できるよう、「きまりの意義」や「権利と義務」等について考えていきます。
⑩「子どもは困ったり悩んだりした時、保健室や相談室、職員室で相談しやすいと言っている」と回答する保護者が80%以上である。	66.9	SOSの出し方・受け方についての学習や、相談ボックスの設置により、誰にでも相談できる体制を整えています。
⑪「夢や目標に向かって勉強や運動に取り組んでいる」と回答する児童が80%以上である。	82.8 ↓	(前回89.5%)学習や行事等において、スモールステップを着実に重ねていくことの大切さを伝えていきます。

具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取組等
⑫「親子で子どもの将来の夢や希望について話し合う機会がある」と回答する保護者が80%以上である。	85.4 ↗	(前回79.0%) 日常的に「目標→実行→振り返り」のサイクルを大切にして話し合っていたらとありがたいです。
⑬「授業以外に週3日以上体を動かして遊んだり運動したりしている」と回答する児童が80%以上である。	82.8	(保護者回答64.9%) なわとび練習や外遊びの奨励により、体を動かすことが楽しいと感じる児童を増やしていきます。
⑭「手洗いやうがいをしっかり行い、ハンカチやティッシュを身に付けて生活している」と回答する児童が80%以上である。	82.2	インフルエンザの季節となりました。基本的な予防策への意識を高め、自分の健康に留意して生活できるようにします。
⑮「地震や火災が起こった時、避難の仕方が分かる」と回答する児童が80%以上である。	94.9	2学期はVRや地震車による防災体験を行いました。引き続き、避難訓練等を通して自分の身を守る行動について学びます。
⑯「交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校をしている」と回答する児童が80%以上である。	96.2	休日における自転車の乗り方についても、安全に気を付けることができるよう声かけしていきます。
⑰「たよりや連絡帳、電話連絡等により子どもたちの様子が分かる」と回答する保護者が80%以上である。	83.4	引き続き、おたよりや家庭への電話連絡等により、お子さんの学校での様子についてお伝えしていきます。
⑱「試行的にメール配信した学校だよりを、デジタル版で閲覧した」と回答する保護者が80%以上である。	84.1	ペーパーレス化、利便性の向上等をねらいとして、今後、新しいシステムによるおたより等のデジタル配信を予定しています。
⑲「授業参観や学校行事などに参加している」と回答する保護者が80%以上である。	91.4	ご多用のところ、ご来校いただきありがとうございます。児童の活躍をなるべく多く見ていただけるよう検討します。
⑳「悩みごとや困っていることがある場合、学校に相談しやすい」と回答する保護者が80%以上である。	83.4	学級担任だけでなく、相談員やスクールカウンセラー、管理職が対応します。心配ごと等については、お気軽にご連絡ください。
㉑「学校は、保護者や地域の方の協力を得て教育活動の効果を高めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	82.8 ↗	(前回77.8%) 家庭科、生活科、総合的な学習等において、保護者の方の協力をいただき、活動の質が高まっています。
㉒「桐生が好き」と回答する児童が90%以上である。	89.2	生活科や社会科の学習において、東地区にある身近な施設等を実際に訪問するなどして、地域に愛着がもてるようにしています。
㉓「学校はICTに関する環境整備に努めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	82.8	今後、タブレットを、児童の学校生活の記録や保護者へのお知らせ等にも活用していきたいと考えています。
㉔「施設の管理や安全対策は十分であると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	82.8 ↗	(前回75.3%) 授業時間帯は門扉を閉めています。また、定期点検後、修繕が必要な場合は速やかに対応しています。

◎自由記述について

様々な視点からご意見等をいただき、ありがとうございます。記載されたご意見・ご質問等に対して、学校としての対応や考え方を示させていただきます。なお、紙面の都合上、ご意見等の要旨をまとめさせていただきます。

--- <教育活動全般について> -----

- ・今の学校のカリキュラムの中で、正解のある問い、決められた学習内容、ルールの徹底など、自由な発想が不正解もしくは悪になってしまいかねない状況が、果たしてこれからの時代を生きる子どもたちの力となっているのか、懸念しているところがあります。学校だけの問題ではないですが、これまでの踏襲ではなく、未来を預かる教育機関としての在り方を共に考えていきたいです。
- ・授業を真面目に受けたい子が、そうでない子に邪魔をされている現状はいかがなものかと思う。単純に全科目を2クラスに分けてほしい。
- ・学校での様子がもう少し詳しくわかるとよいかと思いました。

今後、子どもたちは正解のない問いに向き合いながら生きていかなければなりません。身に付けた基礎的・基本的な力をもとに自分の頭で考えて表現したり新しいものを創造したりする力が求められます。また、考え方が異なる他者と協働しつつ、落とし所を探ったり折り合いをつけたりする調整力やコミュニケーション力も必要となります。学校においては各教科等の基礎基本の定着だけではなく、友達との関わり合いを通して発展的・探究的な学習につながる取組を大切にしていきたいと考えています。

児童の状況や習熟度等に応じた少人数による学習は効果的と考えますが、校内の人的体制が整わず、実現は難しい状況です。全ての児童が興味・関心をもって取り組むことができるよう授業の工夫を行っていきます。

保護者の皆さまに児童の学校の様子をお伝えできるよう、今後、デジタル化による情報提供の仕組みについて検討していきたいと考えています。

--- <給食について> -----

- ・給食の時間をもう少し大事にしてもらえるといいのではないかと感じています。低学年ということもあるかもしれませんが、「時間がなくて食べ切れなかった。」と聞くことが多いです。
- ・食育やフードロス（SDGs）の観点からも、給食も大切な教育の時間ではないかと思えます。
- ・給食の配膳を終えたあとに減らしたい人は各自減らしに行く、というのが衛生的にどうなのかと思っています。盛り付ける時点で減らすなど別の方法があるのではと思いました。

ご指摘のとおり、給食の時間も教育活動の一環となっており、その充実に向けては適切な給食時間の確保が大切と考えます。また、盛り付け時に量を減らした場合、残食量が増えることが懸念されます。今後も、給食時における衛生面には特に配慮しつつ、健康・食習慣・食文化・自然の恩恵への感謝等の視点を踏まえ、給食の時間の充実に努めていきたいと考えています。

--- <教育相談等について> -----

- ・相談しやすい雰囲気はあると感じていますが、性格上自分から言い出しにくいようです。電話連絡等で相談させていただいた際は、誠実に対応していただいているおかげで、安心して学校生活を送れているようです。ありがとうございます。
- ・本人が体調が悪くて話もできない時に、早く異変に気づいて保健室に連れて行く事や保護者に連絡してくれる事を徹底していただきたいです。

毎月の生活アンケートや日常적인見取りにより、児童の様子を注意深くとらえようと努めています。お子さんの学習・生活、友人関係、健康等に関してご心配な点があれば保護者の方と状況を共有させていただくことで迅速な対応が可能となります。引き続き連絡を密にさせていただければと思います。また、児童の体調の急変について見過ごすことのないよう、よりきめ細かく見守っていくことを徹底します。

--- <学校のICT化等について> -----

- ・すべてのおたよりや案内をペーパーレスでスマホなどで見られるようにしてほしいです。
- ・体調不良で欠席した際、オンラインで全ての授業に参加できるようにしてほしい。

おたより等の配付については、ペーパーレス化や保護者の皆さまの利便性の向上に向けて、デジタル配信を検討しています。市教委が主導して連絡アプリを導入する予定ですので、本校においても3学期、試行的に実施したいと考えています。また、感染症予防等により長期間、自宅待機となる場合には、一部の授業をタブレットにより配信することができますので、担任までご相談ください。

--- <授業参観等について> -----

- ・2学期は親子行事と食育についての実施でした。ただ、国語や算数のようないつもの授業の参観であれば普段の様子分かるので、そういう機会にしてもらえるとありがたいです。
- ・授業参観が姉妹で重なってしまい、親子行事だったので参加するのが大変でした。なるべくどちらの子どももしっかりとみてあげたいので、重ならないようにお願いしたいです。懇談会もどちらも参加したいです。
- ・授業参観が年4回あり、仕事をしている身としてはもう少し少なくてもよいのではと感じます。
- ・学校行事があることはよいことだが、保護者が参加しないと成り立たないような行事はやめてくれるとありがたい。

ご多用のところ、ご来校いただきありがとうございます。2学期については保護者の来校回数の負担を考慮し、親子行事と兼ねる学年が多くなりました。日程については毎回同じ学年が組まないよう配慮しているところですが、全てのご要望にお応えすることが難しい状況です。今回いただいたご意見等を踏まえ、回数、学年の組み方、内容等について工夫していきたいと考えています。

--- <教室環境等について> -----

- ・クラスにアルコール、トイレの入口など近くに消毒できるアルコールが置いてあるとよいと思います。
- ・教室が寒いです。

各学級にアルコールスプレーが備えてあり、必要に応じて手指消毒等に用いています。感染症対策においてはアルコール消毒だけでは十分ではないため、学校では石けんによる手洗いをより重視して児童に呼びかけています。また、教室は暖房と換気を同時に行っています。各教室に、機器（CO₂モニター）が設置されていますので、それをを用いて室温、湿度、二酸化炭素濃度等について適切に管理していきたいと思っています。

--- <学校評価アンケートについて> -----

- ・本アンケートのはじめのメールアドレスの問いは、子供のPCのアドレスなのか、親の個人アドレスなのか、案内が雑なので非常にわからない。学校の文書しかり、作り手の感覚で作成しているものが多い見られ、読み手を意識した文書作成を常に留意してください。
- ・アンケート実施のプリント配布と、回答期間を揃えていただくと助かります。

通知等の趣旨や内容が伝わるよう、わかりやすい文書作成に努めていきたいと思っています。その他、ご指摘いただいた点については、今後、改善していきます。

--- <その他> -----

- ・運動会で作成したTシャツを体育着として着用できると通年で活用できるのでお願いしたい。
- ・子供のことを本当に考えていますか？子供を一人の人間として試していますか？仕事として機械的に処理していませんか？すべての教職員の方へ本音を聞いてみたい。

運動会で使用したTシャツはダンスの衣装として考えています。登校時に普段着として着用していただくことは構いませんが、体育着の代替としては考えていませんのでご了承ください。

全教職員がお子さんの将来に向けて何が出来るかを考え、日々の教育活動を行っています。よりよい教育に向けてはご家庭との連携が不可欠です。学校の取組やお子さんの様子等についてご心配・ご不明な点がありましたら、随時お問い合わせいただくと相互の理解が深まり、よりよい教育活動につながると考えています。今後ともよろしく申し上げます。